



記念館もあるのか入ってみよう!



清張通り
Seicho-dori Avenue

あっ!



「点と線」以外の本も読みたくなったよ

「砂の器」「黒革の手帖」：映画やドラマになった作品もたくさんあるよなあ



そうでしたか初めて松本清張の小説をお読みになったのですね



清張は82歳で亡くなるまで執筆を続け手がけた作品は千点ほどあります

そんなに! きつと学校の成績もよかったですね



はいすごく面白くて...



有名になってもふるさとの小倉をずっと大切に思っていたんですね



清張は地元の本をたくさん贈ったり小学校にランドピアノをプレゼントしたりしていました

夢をあきらめず努力したんだな小倉が誇る作家だ



尋常高等小学校のあと進学できなかったのが当時の悔しさをばねにたくさん作品を書いたのですね



作画・野川ふきこ

※松本清張記念館 1998年に開館した北九州市立の施設(同市小倉北区城内2の3)。小倉城の近く、小倉北署の向かいにある。清張さんの自宅の応接室、書斎、書庫を再現した展示もある。

開館時間は午前9時半～午後6時(入館は午後5時半まで)。入館料は、大人600円▽中高生360円▽小学生240円。団体(30人以上)割引がある。電話=093(582)2761